

世界遺産の富士はいかが・・・？

御坂 黒岳

実施日 2013年8月31日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 遠井 謙策
 参加者 鈴木政三、鈴木恵美子、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、小名秀鋭 計8名
 費用 交通費 6,060円(新宿起算、タクシー含む)
 タイム 天下茶屋(10:23)御坂山(11:30)御坂峠(12:06~12:29)黒岳山頂(13:19-13:42)破風山(14:16)新道峠(14:37)中沢新道堰堤(15:22)日帰り温泉泉水(15:55)

台風縦断の予報におののき御嶽登山を断念した。しかし関東地方は好天予想、急遽代替山行を計画した。始めの候補地は六ツ石山だったが、暑さときつさに再代替案が登場し即決は、さすが女性パワー。若干の涼を求め、夏の富士を愛でようとの目論見だ。

増発された3台の大型バスが中央高速をひた走る。河口湖駅で路線バスに乗り換え天下茶屋停留所へ。天城隧道を彷彿させるトンネル横を登り始める。

すぐに太宰治の碑がある。友人の井伏鱒

二の寄せ書きがあり、この茶屋にしばし逗留、構想をまとめ、甲府へ移ってあの「富嶽百景」を書いたと知る。



いきなりの急登が続くが風の樹林帯が心地良い。稜線にさえ出ればこっちのもの、御坂山を過ぎやがて御坂峠へ出る。広場で早速お昼ご飯、持ち寄ってくれた冷えた種々の果物が大変美味。元気な蜂に追われる場面もあったが、高山にいるかの如き多くの花に心も弾む。

アザミ・トリカブト・ハクサンフウロ・マルバダケブキ・・・

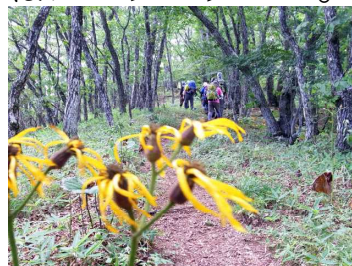


メインの山頂黒岳では、展望がない分、美しい蝶が華麗な舞いを見せてくれた。

でも何故一等三角点がここにあるのだろうか？5分の展望地点に寄り道をして、夏空に霞む青黒い富士と相對する。眼下の河口湖が心なしか小さく見えるのは湖面が下がっているからだろうか？



後半戦も樹林の道で、恐れていた日焼けはノープロブレム。心は早くも温泉・ビールモードへギア



チェンジ。駆け出すように破風山、新道峠へと尾根道を快調に進む。

いくつかのグループと擦れ違う。やはり富士外輪山はいつの季節も人気がある。吹く風や小さく聞こえる虫の声を聞くと、さすが秋の気配も感じるものの、やはり暑い。

下山した急坂が続く中沢林道の長かったこと。堰堤に待たせていたタクシーで日帰り温泉に急行、ザブンと飛び込み、グビーッと一気に飲んだビールの定番セットは、何時でも何処でもこの世で一番。とっぷりと日が暮れた道を8つの赤い顔が駅へ向った。ところで、富士急ハイランドにある絶叫マシンって乗るのに年齢制限があるって知ってました？残念だけどもう私は乗れません。



(記・遠井 謙策)

(写真提供・遠井謙策/渋谷賢寿/伊藤久雄)

